

BEA VOICE

Yogee New Waves

Welcome to "BLUEHARLEM"
波に生まれまとう醒めない夢。

LIVE

Yogee New Waves
TOUR BLUEHARLEM 2019

6/14◎ 福岡 DRUM LOGOS
6/15◎ 鹿児島 SRホール
6/16◎ 長崎 DRUM Be-7

05

No.480 May 2019
The music magazine
that charms you.

INTERVIEW

中田裕二

“聖域”を求めて変わり続ける中田裕二の音楽。

T-SQUARE

46枚目の『HORIZON』は
“手応えがあって、すごく好きなアルバム”。

ベッド・イン

令和にとどろくバブルの激マブナンバー。
ボディコンロックで日本を元気に!

LIVE REPORT

森恵

桜舞う春、ギターと歌の力に心ほどけた最高のステージ。



川嶋あい
路上ライブ出身のシンガーソングライター。5/15にコラボアルバム『Ai X』を発売。3年振りのツアーはアコースティックサウンドでお届け。天使の歌声と称される声を生で味わって。
>5/31(金) 八女市民会館



UVERworld
今回のライブは、昨年9月開催予定だった沖縄公演の“REVENGE MATCH”!さらにバンド結成日となる6/6(木)は“UVERworld生誕祭”!沖縄の夏をさらに熱くする!
>6/5(水)、6(木) ミュージックタウン音市場 [沖縄]



ハンバート ハンバート
夫婦でもある男女デュオ。TVや映画、CMへの楽曲提供も多数。懐かし切ない楽曲と繊細なインヴォーカル。シンプルな音楽がここにあります。
>6/13(木) 早川倉庫 [熊本]
>6/14(金) 長崎県美術館エントランスロビー



cinema staff
ポップでメロディアスな歌に攻撃的なギターが融合したロックバンド。TVアニメ「進撃の巨人」ED曲の為に書き下ろした『Name of Love』を5/29にリリース。3年ぶりのワンマン・ツアーも決定。
>7/14(日) Queblick



うしろシティ
お笑いコンビ。キングオブコントでは3度のファイナリストに。実力と人気を兼ね備えたうしろシティの単独全国ツアーが開催決定。どんなエクスカリパーを振り回し笑わせてくれるのか、乞うご期待。
>7/21(日) イムズホール



CASIOPEA 3rd
デビュー40周年。伝説のスーパーフュージョンバンド。7月発売予定のニュー・アルバムからの選曲になる今回のライブ。進化し続けるカンオペアワールドを堪能できそう。今年の夏はフュージョンから。
>7/27(土) スカラエスバシオ



森口博子
バラエティアイドル(バラドル)の先駆者。ガンダムなどアニソンヒット曲も多数。近年はジャズライブにも挑戦。透明感に深みとパワーが増した歌声で、元気エネルギーを放出中!
>8/17(土) Gate's7 [2回公演]



w-inds.
デビュー前に渋谷ホコ天で8,000人を動員した記録を持つ。台湾、香港などアジア圏でも絶大な人気を誇り、現在は楽曲もセルフプロデュース。ますます本格派な男性ダンスヴォーカルユニットへ。
>8/18(日) 福岡国際会議場メインホール



八神純子
シンガーソングライター。「みずいろの雨」「パールタウン」など日本ポップス史に残る名曲の作者。活動休止を経て11年に完全復活。キャリアに惑わされず、常に攻めの姿勢の彼女を体感して。
>8/18(日) Zepp Fukuoka



中村あゆみ
'85年『翼の折れたエンジェル』がスマッシュヒット。独特のハスキーヴォイスでファンを魅了。デビュー35周年記念に伝説のライブ“AYUMI DAY”が復活。35年分の中村あゆみがここに結晶。
>8/31(土) 都久志会館



ポルノグラフィティ
20周年を迎える記念日とその前日、東京ドーム2daysのスペシャルライブが決定。“神vs神”のタイトル通り、神セトリで渾身のライブをお届け。20周年イヤーの締めくくりは東京ドームに全員集合だ!
>9/7(土)、8(日) 東京ドーム



宇崎竜童
ダウン・タウン・ブギウギ・バンドでデビュー。45年経った今も精力的に音楽活動を続けてきた彼の、弾き語りで魅せる大人のためのステージ。
>9/15(日) 鳥栖市民文化会館 [佐賀]
>9/16(月・祝) 日向市文化交流センター [宮崎]

HY

結成20周年を迎えるHY。その幕開けを記念する13枚目のオリジナル・アルバム『RAINBOW』が、6/12にリリース決定!辛いことや悲しいことを乗り越えるための架け橋になれば...そんな想いを込めて“虹”をテーマに書き下ろされた新曲や、TV番組やCMなどのタイアップ・ソングとして沖縄エリアでオンエアされてきた楽曲を収録。10月からは全国ツアーがスタート!HYと一緒に20年の軌跡を楽しもう!
>12/18(水) 福岡市民会館 >1/28(火) 鹿児島市民文化ホール第一
>1/25(土) アルモニーサンク北九州ソレイユホール >2/9(日) 沖縄コンベンションセンター展示棟
>1/26(日) 鳥栖市民文化会館 [佐賀]



BILLIE IDLE
コンセプトはNOT IDOLでテーマはネオ80's。レトロな音楽にアイドルが融合という独創性が魅力。5/22にニュー・シングル発売。
>9/21(土) 熊本B.9 V2
>9/22(日) DRUM SON



高橋真梨子
「熟成された高橋真梨子を反映させてもう一度世に送り出したい」と、初のセルフカバー・アルバムを6/12に発売。41年連続43回目の全国ツアー、ヒットソング中心のライブになること間違いなし!
>10/19(土)、20(日) 福岡サンパレスホテル&ホール



Dragon Ash
過去の制約を取り払った新ツアー決定。“THE FIVES”は5人で、“THE SEVENS”はダンサーインの7人フルメンバーで開催!
>11/4(月・休) 熊本B.9 V1
>12/13(金) Zepp Fukuoka



琴音
17歳のシンガーソングライター。人気オーディション番組でグランプリを獲得し、3月にメジャー・デビュー。初ツアーは全公演即完。今回2度目となるツアーで福岡へ。等身大の魅力に触れて欲しい。
>12/8(日) ROOMS



映画『小さな恋のうた』
MONGOL800の人気曲『小さな恋のうた』をモチーフに描いた青春映画『小さな恋のうた』が5月末より全国公開される。佐野勇斗などの若手人気俳優ほか、なんと!モンパチメンバー3人もカメオ出演。
>5/24(金) より全国公開!



RAMMELLS
Mirrors release tour
- CROSS FM 20th ANNIVERSARY SUPPORT LIVE -
5月11日(土) 福岡 graf



おいしくメロンパン
2マンアール(A.X.S. Xって、ーがXだー) 対バンズ・カナル
6月29日(土) 福岡 DRUM Be-1

忘れらんねえよ
フレ(GUEST):ネクライトーキー
5月10日(金) 福岡 LIVE HOUSE CB



中嶋ユキノ
TOUR2019「春夏秋冬」〜鹿児島ユキノ電車に乗って〜
5月18日(土) 熊本 Restaurant Bar CIB
TOUR2019「春夏秋冬」〜中嶋ユキノ電車に乗って〜
5月19日(日) 福岡 Gate's7



宮沢和史
[時を流す鳥の如く] 宮沢和史コンサート 平成30年〜
7月19日(金) 福岡 都久志会館



LOVE PSYCHEDELICO
Premium Acoustic Live
"TWO OF US" Tour 2019

踊ってばかりの国
6月21日(金) 福岡 the voodoo lounge



8月3日(土) 福岡国際会議場メインホール
8月4日(日) 大分コンパルホール
8月30日(金) くまもと森都心プラザホール

つばきファクトリー
5月11日(土) 佐賀 GEILS [2回公演]
5月12日(日) 福岡 DRUM LOGOS [2回公演]

[ALEXANDROS]
Sleepless in Japan Tour
5月12日(日) マリンメッセ福岡

ネクライトーキー
9月3日(火) 福岡 LIVE HOUSE CB



5th Elements / 比花知春 / YAASUU
カミヤタスク / Saky / ゆつきー from キャン×キャン
High祭 in 福岡 Vol.6
5月31日(金) 福岡 the voodoo lounge



加山雄三
コンサートツアー2019-20 START
7月7日(日) 宮崎 日向市文化交流センター
7月9日(火) 鹿児島 宝山ホール

中澤裕子
[1日目] ゲストメガモツ [2日目] ゲスト: 朝日歌謡
ライブ終了後、お見送りハイタッチ会あり
6月9日(日) 福岡 Gate's7 [2回公演]



嘘とカメレオン
6月23日(日) 福岡 Queblick

ROS
ROS presents 「BANDITS' SHELLING」
対バン: PRAISE
6月5日(水) 福岡 DRUM SON

Yogee New Waves (ヨギー・ニュー・ウェーブス)

角館健悟 (Vo./Gt)、粕谷哲司 (Dr)、竹村郁哉 (Gt)、上野恒星 (Ba)、『13年活動開始。メンバーチェンジを経て17年より現体制。14年4月にデビューe.p.『CLIMAX NIGHT e.p.』をリリース。同年夏には初めてフジロックのルーキーズステージに立ち、9月1stアルバム『PARAISO』をリリース。17年5月に2ndアルバム『WAVES』を発表。CDショップ大賞2018前期のノミネート作品に選出され、夏には再びのフジロックをはじめ全国各地の大型野外フェスに多数出演。その後も、映画『おじいちゃん、死んじゃったって。』の主題歌起用、角館のTV番組ナレーション起用など、幅広いカルチャー・フィールドにおいてシンパを獲得していく。18年には『SPRING CAVE e.p.』のリリース、アジア3カ国を含めた全12公演のツアー開催、大型タイアップ企画の始動など、その活動はますます精力的になっている。
http://yogeenewwaves.tokyo/



写真プレゼント
応募方法はP.11をチェック!

を教えて。想像して、弾く。それがアートだからって伝えてね。そこで彼が夢中で、無心で練習する姿を見て、もう本当に美しいと感じたんです。その澄んだ情熱は、僕も楽器を始めた時に持っていたし、楽器やっただことのある全ての人たちがファースト・インプレッションに持っているもの。その原点というか本質的な感じがこの曲に帰結したというか。この曲自体は3年前からあったんですが、何か僕をゆり動かしている。それに気づかずに死ぬのはまっぴらさの詞とメロディとコードだけあって、そこから先進まなかったんですよ。それが、彼の姿と重なって一気に、ドバツとできましたね」

角館が求める、他者への想いと音楽との循環という点において、これほど美しい形もないだろうと思う。彼らのグルーブに生まれまとう泡沫は、決して夢想のものではなく、現の帆が進んだ確かな軌跡なのだ。そんな今作を携えたリリースツアーは6月、岡山よりスタートし、九州はツアー2日目の福岡はじめ鹿児島、長崎と初めて3カ所を廻る。ツアー先では「街をブラブラするようにしてる」そう、そこにもまた彼らしい理由がある。

「土地が違えば住む人も違うし、住む人が違えば考え方も違う。その土地の感覚を少しでも知りたくて。たとえば1曲目にすいテンションの高い曲をやったとして、街によって盛り上がる場所と盛り上がりがないところがあると思えば、それはすごく自然なことだと思えます。ライブではそのテンション感を合わせていく。エスコードするというか。だから、東京に住む人に向けて演奏するのと、福岡の人たちに向けて演奏するのは全然違う。バンドだけが突っ走っていつかやうような感じはカッコ悪いと思うから」

「Welcome to BLUEHARLEM」な感じは出したいなと思って。海外へ行ったような何か強烈な、皆が自分の生活を俯瞰で見ることになっちゃうようなことがしたいんですよ」



Yogee New Waves

Welcome to "BLUEHARLEM"
波に生まれまとう醒めない夢。

取材 / 文：山崎聡美



「HOW DO YOU FEEL?」と歌い問いかけ、バンドの世界観とスタンスを決定づけた2ndアルバム『WAVES』から約2年、『Yogee New Waves』が2ndアルバム『BLUEHARLEM』をリリースした。通算3枚目の今作で彼らは、CAN YOU FEEL IT? を謳う。大事なことは、感じられることだ。当初からそのつもりで制作を始めたわけではなかったそうだが、完成後、バンドは今作を「鳥三部作」の完結作とした。1st『PARAISO』2nd『WAVES』を経て辿り着いたこの場所で、メロディやアレンジやリリックが渾然と示す大きなベクトル、ヨギー独特のムードはより濃厚になった。アンサンブルは有機体として、言葉と同等に雄弁だ。その行程を、バンドを率いる角館健悟はこう振り返ってくれた。

「ここは変えちゃいけない、っていうのがあったような気はして。変えるポイントと、変えられないポイント、たぶん僕がそれを区別つけたような感じはします。それが具体的に何だったのかはあんまり覚えてないんです、なんとなくやってたので(笑)。でもずっと、(これまでの作品から)地続き的に、核的な部分ではあって、そこまでやさしくしちゃうダメだな、とか。ただ、皆の演奏聴いて、歳をとるように本当に少しずつ成熟して、感じを、まざまざと感じて。そこで、ヨギーらしさとは何なのかってことを、すごく自問自答していた気はします。それで結局、なんかこう…愛とか、ひとを想うこと、みたいなことを、僕は伝えたいと思っていて。そのことに、今も全く変わりはなく。そのために楽曲があつて…だから、ロックだったりとか自分のルーツに恥じないこと、っていうのはすごく、キポイントになってたと思います」

これは、時代や社会に無頓着な、ファンタジックな発言ではない。ヨギーというバンドは音楽の効用、ファンタジーとしての物語の効能をよく知る。だからこそ、それらを効かせるべき世界(時代や社会)とは決して切り離すことはできない。もつと言えはその世界の病巣を正面切って捉えているからこそその覚悟だろう。

「どうなんでしょうね…実は、そこは日々、葛藤してるんです。社会とどのくらい繋がっているのかな、みたいな。社会に繋がれば繋がるとい人々に伝えられるポイントが増える。けど、社会と断絶すれば、他者のことを気にせず創って、音楽そのものの美しさで魅せてあげられる…接点の持ち方っていうか、そのバランスをずっと考えてるんです。ポイントね、圧倒的に断絶された、わー、どっか飛んでっちゃったなあ…(笑)みたいな作品とかも創ってみたいけど、なんかそれだと、本当にやりたかったことは違ってくる。やっぱり他者と繋がってこそ音楽だ、っていうのが、子どもの頃から教えられてきたことだから」

たとえば、アルバムの中盤に位置する「emerald」。ロマンティシズムの昂揚感と永続性を、澄んだ情熱をエメラルドと僕は呼びたいのさ」という音楽的かつ詩情に満ちたフレーズに落とすし込み、Yogee New Wavesという存在の深淵に触れる感覚を残すこの曲には、こんなエピソードがあった。

「これね、僕には二人の親友がいて。そのうちの一人はずっとビジネスのことだけを考えている男だったんですが、ある時アトがどれだけ世の中に作用するのかわかってに気づいちゃった。(消費者という)人間が動くのを読んでお金稼いでた人が、それは逆のアートの力を彼は美しいと思ってしまうって、今までやってきたことが無意味に思えてきた。と、それで僕は、そのアートを自分でやってみればいいじゃんって、ギター



New Album NOW ON SALE

BLUEHARLEM

ビクター / Colourful Records / 通常盤 ¥3,240 (tax in)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. blueharlem | 6. emerald |
| 2. Summer of Love | 7. Bring it Home |
| 3. CAN YOU FEEL IT | 8. past song |
| 4. Good Night Station | 9. Bluemin' Days (Album ver.) |
| 5. Suichutoshi | 10. SUNKEN SHIPS |

LIVE

Yogee New Waves
TOUR BLUEHARLEM 2019

6/14 金 福岡 DRUM LOGOS

6/15 土 鹿児島 SR ホール

6/16 日 長崎 DRUM Be-7

※詳しくはBEA-NETをご覧ください。



New Album

Endless Bubble ~Cover Songs vol.1~

SPACE SHOWER MUSIC/Sweet Spot
4.3 ON SALE

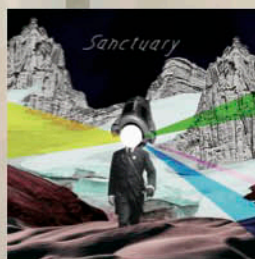


令和にとどろくバブルの激マブナンバー。
ポデイコンロックで日本を元気に!!

取材/文:岩崎洋明



写真提供:ポデイコンロック



New Album

Sanctuary

Imperial Records
5.15 ON SALE



中田裕二

“聖域”を求めて変わり続ける 中田裕二の音楽。

取材/文:なかしまさおり

前作『NOBODY KNOWS』から約1年2カ月ぶり。オリジナルとしては通算8枚目となる最新アルバム『Sanctuary』を5月15日にリリースする中田裕二。今作では「リリシズム(叙情性)」がテーマとなっており、全10曲中5曲を前作に続きTOMMYO氏と制作。残りの5曲を、お馴染みのツアーマンバーや信頼のけるミュージシャンと丁寧に作り上げていった。まずTOMMYO氏の曲については「僕のデモを起点として、TOMMYさんにリズムやシンセで色付けをしてもらう。そして、そこにさらに自分のギターとヴォーカルで呼吸していくという、いわば、音で会話をしている感じ」で作り上げていったとのこと。都会的な繊細さを持つ「フラストラーション」から温かな音色のバラッド「終わらないこの旅」まで、実に多彩なアレンジを展開。もちろん、前作で築いた関係性があってこそ「振り幅」だとは思うが「どの曲も、デモの段階から、ある程度音像のイメージが見えていて、作業としてはかなりスムーズに出来ました」と今作でも大きな手応えを感じている様子。また、アルバムには他にも、奥野真哉(SOUL FLOWER UNION)が弦のアレンジをしたという『誰の所為』や「僕なりの70年代ウエストコースト、サザンロックの現代版(自称「砂漠ロック」)を演ってみた」という『幻を突き止めて』など、耳を奪われる曲がズラリ。中でも、東京マラソンを走るランナーの姿にインスパイアされて生まれたという『ランナー』は、独特のラップ調ヴォーカルのパートも含めて、大

きな話題に。「といっても僕のラップは、あくまでもラップ調の歌」なので(笑)。曲がそういったリズムの歌を欲してきた場合には、自然とそういうアプローチになりやすいと事もなげに話している。近年ライブでも頻りに披露している熊本民謡『おてもやん』、パツキングのギターも含まれて、その独特の歌い回しは、もしかしたら影響が多少あるのでは?「確かに(笑)。『おてもやん』とか(前作収録の)『正体』の影響はあるかもしれない。ただ、基本的にレイドバックして歌うのがとても好きなので、かつちりリズムを刻むよりは、歌をいろいろ転がしながら拍に当てていく。そこに面白さを感じたりもしています」。

さて、そんなアルバムのリリース翌日からバンド編成による全国ツアー「Sanctuary」がスタート。また、弾き語りツアー「中田裕二の語うロマン街道」も決定している。それぞれ「どこまでも情報が侵食してくる時代になってきて、改めて、自分の“聖域”とはなんだろう?果たしてどこまでそれを守りきれのだろうか?そんな自他への問いかけがきっかけ」になったと語るアルバム・タイトル同様、「古さ」と「新しさ」と「叙情感」を織り交ぜた、確固たる中田裕二らしい表現「を探して、これからも理想の音作りを追求していかれたらと思います。是非、「聖域」を求めて変わり続ける中田裕二の音楽、次のシナリオを描こうとする中田裕二の姿をライブで体感してください」。

中田裕二 TOUR 19 "Sanctuary" バンド編成公演

5.25(土) 福岡 スカラエスパシオ

中田裕二の語うロマン街道 弾き語り公演

5.26(日) 熊本 早川倉庫 **SOLD OUT!**

中田裕二(ナカダユウジ)

'81年生まれ、熊本県出身。'03年、椿屋四重奏にてデビュー。'11年に解散後、ソロとしてのオリジナル作品を発表しながら、カバー、弾き語り、トリオ、ジャズバンド...と多様なスタイルでライブを展開。艶のある歌声、さまざまなジャンルを含んだ多彩なサウンド・メイク、またウィットに富んだ歌詞や美メロで多くのファンを虜にしている。ちなみに最新アルバムの初回限定盤には、昨年11月にLINE LIVEで配信した弾き語りスタジオ・ライブの模様やその配信終了後に撮影された3曲分のパフォーマンス映像などを収録したDVDが付属。
<http://yujinakada.com/>

全国のライブ会場で強烈なインパクトを残し、3月にZepp Fukuokaで開催された『FUKUOKA 2019』でもぶつとびいなパフォーマンスを披露した地下セクシーアイドル、ベッド・イン。すだれ前髪に太い眉、ピッチリタイトなポデイコンに身を固め、日本に再びバブルの嵐を巻き起こす!平成の終わりにリリースした『Endless Bubble ~Cover Songs vol.1~』はキャリア初のカバーアルバム。バブル時代のヒットナンバーから、影響を受けた8曲を厳選。「結成当初からおキタで当時の曲をカバーしていたので、いつか音源化したいと思っていて。今回、マンをシッパ夢がMORI MORIに叶いました!」(かおり)

「バブル時代を生き延びてきた方々にも今回のアレンジは斬新だと思えます。ナウなヤングには教科書のようなアルバムになったかと思えます。当時の文化を知ってもらおうキツカケになればいいな」と(まい)

益子寺かおりのSEXYな歌声と中尊寺まの骨太なギタープレイで、ポデイコンロック。へと生まれ変わった名曲たち。原曲と比較して聴くのもイカしてる!

「やっぱり、踊れる。ことが一番大事MAN。ベッド・インが掲げる音楽は、デイスコサウンドと昭和歌謡に、ロック姐ちゃん魂を注入したポデイコンロック。それをベースに、原曲がもつ魅力とバランスをとりながらカバーさせていただきました!」(かおり)

「特に意識したのはスキピころ。ロックナンバーの『限界LOVERS』(SHOW-YA)や『男』(久宝留理子)、『あゝ無情』(アンルイス)ではギターサウンドを全面に、『CHACHACHA』(石井明美)や『君たちキウィ、ババ

イアマンゴーだね。(中原めいこ)ではよりビートを効かせる為のアレンジを心がけました」(まい)

この時代のヒットナンバーを語るうえで欠かせないのが、男女のツイーン・ヴォーカル。「目を閉じておいでよ(バービーボーイズ)では、マキタスポーツとの濃密なデュエットが実現している。

「Pキタさんはセクシーな歌声だけじゃなく、表現豊かなアドリブもたくさん挿入くださって、本当に勉強になりました!」(かおり)と得るものは大きかったようで、「アーバンでトレンディーな歌声で「こうかい?」とかい?とさぐりながら歌ってくれました。私たちはプールの向こうで『ビションコ』(タマランナ会長)って大興奮!」(まい)だったとか。開催中のワンマンツアーでは、DRUM SOONのお立ち台、に降臨。バブルの甘い蜜を吸った人も吸い損ねたナウなヤングも、ゴーヤスな。おキタ。でファイバー!

「福岡の。性徒諸クン。はお礼口さんばかり♡今って、何かと人の目を気にしてしまい、やりたいことを抑制されがちな時代だけど、ウチらを見て。自由でいいんだ、やりたいことをやっていいんだ。とおキタで感じてもらえたらマンモスうれP♡勇氣100%で、ポデイコン姿でジュリ扇振ってくれる子もいるんですよ!」(かおり)

「バブル時代の熱量や自由な精神を受け継いだウチらのおキタに来れば、心も景気よくなりませすよ! ツアー・ファイナルはやまだかつてないサラタ記念日になるハズ:福岡にバブルの嵐を起こしちゃおうゾ♡」(まい)

LIVE!
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。

ベッド・インTOUR 2019
祝!『Endless Bubble ~Cover Songs vol.1~』
発射記念ツアー
5.26(日) 福岡DRUM SON

ベッド・インもともと別々のバンドで活動していた、益子寺かおり(ヴォーカル、おみ足担当)と中尊寺まの(ギター&ヴォーカル、パイオツカイト担当)が12年に結成。結成当初からバブル時代を彷彿とさせる写真集やVHS、8cm短冊シングルを自主制作するなど、80年代末~90年代初頭へのリスペクト精神を胸に刻み、完全セルフ・プロデュースで活動中。バンド歴の長い2人による熱いおキタでのパフォーマンスだけでなく、思わず「おやじギャル」と呼びたくなる歌シブな発言がSNSなどで話題になっている。
<http://bedin1919.chu.jp/>

森恵

平成最後のHIKIGATARI LIVE TOUR 2019
"SAKURA GASANE"

4月7日(日) Gate's7

桜舞う春、
ギターと歌の力に心ほどけた最高のステージ。

文: 前田亜礼 写真: 福島啓和



SET LIST

- M1. そばに
- M2. ひとひら
- M3. 風の吹く方へ
- M4. 眠れぬ夜
- M5. 愛せない人
- M6. 星に願いを
- M7. Around
- M8. 確信犯
- M9. 白日 (King Gnu カヴァー)
- M10. サクラ色 (アンジェラアキ カヴァー)
- M11. Howl
- M12. キミ
- M13. 桜がさね

- EN1. いつかのあなた、いつかの私
- EN2. この街のどこか

「平成最後のHIKIGATARI LIVE TOUR」と題された森恵のツアー、メイン・タイトルは「SAKURA GASANE」。ちびっこの見頃を迎え、桜色に染まっていた福岡。満員の会場に現れた彼女は、愛用のアコースティック・ギターを手に、スポットライトの中で静かに歌い始めた。

オープニングは昨年リリースのアルバム『98』に収録されたインディーズ時代の名曲『そばに』。抜群のギター・テクニクと伸びやかな歌声が響くと、オーディエンスはたちまち心を掴まれる。続く2曲目もデビュー前に作った春の歌、心地よいファルセットに癒された後は、自分の道を歩む覚悟を歌った『風の吹く方へ』。手拍子湧く中、サビの歌詞を「通り声くこの福岡へ」と歌い、早くも会場を盛り上げた。

「最近、毎日走ってまして、今朝は大塚公園に行ってきたんですよ。5kmほど走ってたら桜が舞い散って、ライフ前に花吹雪を浴びてきました」と、人懐っこい笑顔を見

せてひと呼吸置いた後は、バラード・タイム。小気味よいフィンガーノイズとともに、ギターの音の深みと優しさに満ちた歌声がとけ合い、心かすっとほどけていくような感覚にとらわれる。

しっかりと聴かせてくれた後は、「熱量はバンド以上、盛り上がっていきますよー」と、一気にアップ・テンポな楽曲「Around」などをテカレッシュに演奏し観客をシビレさせた。中盤は、春のカヴァー・ソングを交えて、「この曲、めっちゃむすいのがんばるー」とMCで会場を沸かせた後、披露したのはYouTubeライブでも話題を集めている「白日 (King Gnu) のカヴァー」。息を飲むギターさばきとウォークマンの一体感。オリジナルを遠くほど圧倒的な世界観を魅せてくれた。

「みんな、そろそろ声出さなくない？」。後半は、コール＆レスポンスで観客のテンションを引き上げる。「ラストは『この歌を歌いにきました』と、新曲『桜がさね』を歌い上



4月5日(金)福岡 ヤフオクドームにて行われた、福岡ソフトバンクホークスVS千葉ロッテマリーンズ戦、試合前の国歌独唱に森恵が登場。その模様をYouTube公式チャンネルにて公開中。
▶ <https://www.youtube.com/user/MegumiMoriJP>

NEXT LIVE!

FOLK ROCK LIVE TOUR 2019
"続いていく日々~1985"
7月20日(土) 福岡イムズホール

HIKIGATARI LIVE TOUR 2019
"SAKURA GASANE"
10月12日(土) 沖縄TopNote

▶ 詳しくはBEA-NETをご覧ください。

T-SQUARE

LIVE!

T-SQUARE Concert Tour 2019
"HORIZON"
6.2(日)
福岡 電気ビルみらいホール

46枚目の『HORIZON』は
“手応えがあって、すごく好きなアルバム”。

取材/文: 荒木英喜

「『HORIZON』の曲を中心に構成し、本作と同タイトルのツアーが6月からスタートする。福岡は幕開け、ツアー初日だ。」

「本作はLAでレコーディングされたが、その直前に河野啓三が病に倒れた。急速な代役に立ったのは、T-SQUARE旧知の中であり、その音楽性を理解しているフィリップ・セスタだ。」

「シンセのダビングをやってくれたのも彼で、彼独特の世界観が出ているし、作品全体にも影響しています。少し落ち着いた感じがするの、彼の影響。そうはいっても、ちゃんとT-SQUAREの音になるんですよ。」



New Album

HORIZON

T-SQUARE Music Entertainment Inc.
4.24 ON SALE

「爽やかな『SKY DRIVE』があったり、フルートでラテンビートの曲を書いて欲しいと依頼したら、河野くんが『Samba de Banha』を作ってきたり、坂東にはブラックコンテンポラリーのような曲をお願いしたりと、音楽的にも幅が広く、じっくり聴いても楽しめる一枚になったと思います。安藤はザ・クルセイダースのような感じで、トルーパーを入れたというところだ。今の彼はそういう時代の曲が好きみたいで『Love Game』なんかが出てきたんじゃないかな。全体的にはジャジーだけど、俺のキターってガキっぽいな、って言いながらも自分のスタイルを貫いていました(笑)。今回のアルバムは個人的に僕らの歴代のアルバムの中でトップ3に入ると思っています。それくらいの手応えがあった、すごく好きですね。」

「『HORIZON』の曲を中心に構成し、本作と同タイトルのツアーが6月からスタートする。福岡は幕開け、ツアー初日だ。」

「本作はLAでレコーディングされたが、その直前に河野啓三が病に倒れた。急速な代役に立ったのは、T-SQUARE旧知の中であり、その音楽性を理解しているフィリップ・セスタだ。」

「シンセのダビングをやってくれたのも彼で、彼独特の世界観が出ているし、作品全体にも影響しています。少し落ち着いた感じがするの、彼の影響。そうはいっても、ちゃんとT-SQUAREの音になるんですよ。」

T-SQUARE (ディー・スクエア)

76年、安藤正容が中心となってTHE SQUAREを結成。78年にアルバム『LUCKY SUMMER LADY』でデビュー。当時から高い演奏技術とセンスで知られていたが、CMソングやF1中継のテーマ曲を手がけたことでその名は一気に全国区となった。'89年、バンド名を現在のT-SQUAREに変更。'04年から現在のメンバーとなり、世界のフュージョン界のシーンをリードし続けている。
<http://www.tsquare.jp/>



写真提供: BEA-NET
右から左へは、ロニー・キタノ、フィリップ・セスタ

LIVE / PICK UP!

KNOCK OUT MONKEY
TOUR 2019
"BACK TO THE MIXTURE Part II"

6月14日(金)福岡DRUM SON
6月15日(土)熊本B.9 V2

「神戸の暴れ猿」ことKNOCK OUT MONKEY。感情剥き出しの日本語とキャッチーなメロで人気急上昇中。「この熱量をライブハウスに受け取りに来て下さい。もちろん全く同じTOURを二度もしないよ?マジで楽しみにしてコンチキチョー!!」(w-shun)。見逃せないライブに!

LAIID BACK OCEAN
Will Gravity Win Tonight?

6月23日(日)福岡DRUM SON

元 JELLY-のYAFUMI (Vo)、KAZUKI (Gt) と、SHOUYA (Ba)、SEIJI (Dr)、SYUTO (Pf) からなるピアノロックバンド。ROCK、CLASSIC、PUNK、JAZZ などメンバーが培ってきた基盤のど真ん中にピアノの旋律がある音楽力が心地よい。6月から全国ツアーがスタート。

Mary's Blood
MY XXXXX CONFESSIONS TOUR

7月6日(土)、7日(日)
福岡DRUM SON

6/12に5枚目のフルアルバム「CONFESSIONS」を発売 & 全国ツアーも開催。手数の多いDr、スリリングなGt、バワフルで自由なVo、全てを丸ごと変えるBa、テクニカル&メロディアスなガールズメタルバンドの真髓、重厚かつ儚りにここにあり。

The BONEZ
We Control -Zepp Tour 2019-

7月13日(土)Zepp Fukuoka

JESSE (Vo,Gt) のソロプロジェクトから始まったThe BONEZ。ハードコア、オルタナ、エレクトロ、ブラックコンテンポラリーなど多彩な音楽性を持つ。カリスマ性にハスキーボイス、クオリティの高い楽曲&プレイ、とにかく熱いライブで心臓をわし掴み!

BEA公式アカウントも要check!

▶ Twitter @beafx
▶ facebook @BigEarAnts

今月の○○!!
feature of the month 第66回

| | 編集部K | 編集部M | 編集部E | 編集部I |
|------------|---|--|---|---|
| 新のんびり聴きたい曲 | Vampire Weekend 「Harmony Hall」 何よ6年ぶりのアルバムが楽しみ! | The Innocence Mission 「All the weather」 キュービーハーフのあれ、甘ったくて好き。 | The Flaming Lips 「The Yeah Yeah Yeah Song」 ソフトな入りからの盛り上がり、朝にはとてもいい感じ。 | The Corrs 「Paddy McCarthy」 アイルランドの伝統サウンドとポップスの融合! 久々に聞いた朝にぴったりだった〜。 |
| 好きだった給食 | 「カレー」 甘くて好きだった。ご飯とカレー、デザートを維持しつつ食べてたよ。 | 「パコ」とどうもなしとほろん草の「夕-ツデー」 なぜかこれか思い出せない... | 「ミルクメーク」 牛乳×ミルクメーク=最強。揚げパンも捨てがたい。 | 「Mousse」 福岡県民ならこれがムース! |

毎月、お蔵に沿っていろんなものをpick up! 普段知ることのない、あの人のあんな部分やこんな部分も見えてくるともしたたら、あなたとの意外な共通点が見つかるかも...!!

「サイン入り写真」各1名様

今月の **プレゼント**

絶対欲しい!

●コース T-SQUARE ●コース ベッド・イン ●コース Yogee New Waves

応募方法/下記①〜⑨をご記入の上、ハガキまたはe-mailにてお送り下さい。(6月1日消印有効)

①希望商品 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥e-mail
⑦BEA CLUBの方は会員番号 ⑧最近行ったコンサート
⑨好きなアーティストやライブレポート、その他意見・ご感想

●ハガキ/〒810-0022 福岡市中央区薬院2-10-10 BEA
●e-mail/beavoice@bea-net.com
共に「ビーボイス5月号プレゼント係」まで

CHISAKO MIKAMI presents Match Up 6! Beyond THE LINE! 2019

Match up Artist
GOING UNDER GROUND

6/11 Tue Open 18-30 Start 19-00
the voodoo lounge
スタンディング ¥5,000 (ドリンク代別)

TICKET NOW ON SALE
L-code 82964 / P-code 147-669 / e+

ついに復活!
昨年、13年ぶりにアルバムを発売。新たなスタートを切った三まらこ。各地でマッチアップアーティストを迎えて対バンツアーを開催!

三まらこ

文：なかしまさおり

ある偏愛の、彼方から。

メインストリームからアンダーグラウンドまで、各種メディアや実際の街を巡遊する中で見つけた、さまざまな「偏愛」対象を紹介します。

Vol. 42 **レはレイワのレト**

なかしまさおり ◆ copywriter/music relater/green consumer.
音楽も中心に「観る、聴く、書く、そして考える」を担っています。
そのほか、大学入学直後のクラス選定で太宰府の歌謡を巡った記憶あり。当時は古典に染まり興味があったのですが、卒業後、友人とての事情ありこれを分かった上で味わう「太宰府人」遊行女唄「うかれめ」見聞が交した歌の呪いとか〜あるある。そのほか熊本県民の歌謡「モチモチの晩飯」(吉原の歌謡)「新海風」とか好きな人には是非、太宰府歌謡巡りにしてほしい!

昭和から平成へ、平成から令和へ。まさか自分が、二度も元号が変わる時代を生きていようなんて、子どもの頃には全く想像もできませんでしたが、いよいよスタートしますね。新しい時代が、でも、その前に...まだやるべきことが残っていました。まずは「ユーザー辞書」に、「れいわ」と入力して「令和」と変換するよう、たった今、登録しました(笑)。というわけで、新元号の「令和」ですが、すでに報道されているように、典拠は日本最古の歌集「万葉集」に収められた「梅花の歌三十二首 序文」のく初春の令月にして、気淑く風和が、梅は鏡前の粉を抜き、鬘は鬘後の香を薫らすからだとそう、発表以降は、歌そのものの解釈について、元、元号に込められた意味などについて、その政府説明に対する賛同や異議が各立場の人たちから、さまざまに出されているわけなんです。と、とりあえず、そんな事情はさておいて、その「新元号ゆかりの地」として、にわかに盛り上がっているのが太宰府市なんだそうです。もともと太宰府には飛梅で知られる太宰府天満宮をはじめ、縁結びにご利益があるとされる龍門神社や貴重な特別展など多彩な企画が人気の九州国立博物館など人気観光地が複数あり、県内外からの観光客も多岐にわたりますが、今回の一件で、俄然注目を集めているのが坂本八幡神社の周辺なん

だそう。なんでも、この辺りに、歌を詠んだ歌人・大伴旅人の邸宅があったらしいとのこと、先の歌は、その邸宅で開かれた「梅花の宴」で詠まれたもの、とされているようです。ただ、今でも、はっきり「ココだった!」という場所までは分かっていないとのこと、他にも大宰府展示館東側の月山東地区官衛、大宰府条坊の中など、複数の候補地があるのだとか。まあ、個人的には謎が多ければ多いほど浪漫があっていいなあと思いますので、今しばらくはこのままで多くの人を惹きつけてほしいなあと思います。というわけで、せっかくの大型連休。私も太宰府まで浪漫探しに行こうかな。では、また来月。

福岡ソフトバンクホークス チケット好評販売中!

5月・6月公式戦

5/1 18:00 vs 楽天イーグルス
5/2 13:00 vs オリックス
5/3 13:00 vs オリックス
5/4 14:00 vs オリックス
5/5 13:00 vs オリックス
5/6 13:00 vs オリックス

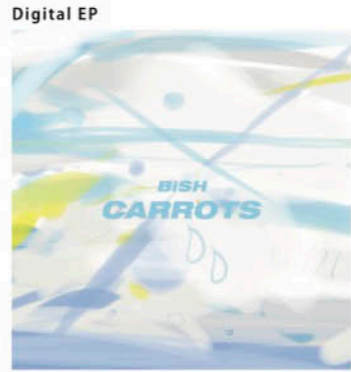
6/1 14:00 vs 楽天イーグルス
6/2 13:00 vs オリックス
6/3 13:00 vs オリックス
6/4 18:00 vs 埼玉西武
6/5 18:00 vs 埼玉西武
6/6 18:00 vs 埼玉西武
6/7 18:00 vs 埼玉西武
6/8 18:00 vs 埼玉西武
6/9 18:00 vs 埼玉西武
6/10 18:00 vs 埼玉西武
6/11 18:00 vs 埼玉西武
6/12 18:00 vs 阪神
6/13 18:00 vs 阪神
6/14 18:00 vs 横浜DeNA
6/15 14:00 vs 横浜DeNA
6/16 13:00 vs 横浜DeNA

ゴールデンウィークは毎日イベント盛りだくさん!

5/1 Wed どんたく博多デー2019
5/2 Thu-6 Mon ジュラシックドームIII など

GWはヤフオクドームがアツい!

チケットのお求めは **チケット** **カチチケット** **各種プレイガイド** **コンビニ** **ヤフオクドームにて!** 詳しくはホークス公式サイトへ! お問い合わせ TEL.092-847-1006 営業時間 10:00▶18:00



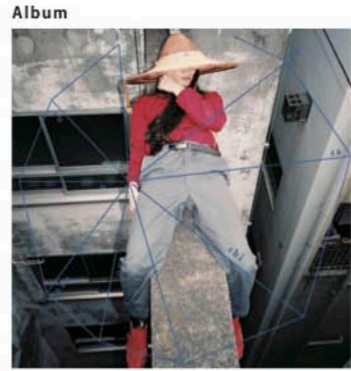
Digital EP
BISH CARROTS

パンクでポップでメロディアスでちょっと切なくて。前作とは対照的にストレートな曲たちがバランスよく揃った。なんだかんだで僕は僕、I am meだと彼女たちの「個」が見えそうな、力強く透明感ある1枚。(本誌編集部)



Album
DRESS COURSE JAZZ

流浪の民の鳴らすジプシー音楽を基調にジャズの自由度を極限まで求めた6作目。表現形態を縛られない志願の本領で、クストリツァ映画の如き幕開けからの強烈な人間描写の見事さ。プラスarr.は梅津和時、スカバラ加藤&茂木もゲスト参加。(山崎聡美)



Album
THE CHARM PARK

2月発表の「不完全なけもの」と表裏を成す今年2枚目(通算4作目)のソロ作。飽くも飽太いヒトの醜ろも生き辛さも鎮め、柔らかに生きることに心向かわせる彼の歌は無二。鎮座DOPENESS参加曲や本陣・GEZANのカヴァーも収録。(山崎聡美)



Album
SUGA SHIKAO

労働なんかしないで 光合成だけで生きたい AIとしては初となる日本語タイトルにまずニヤリ。加えて、表題曲、M3、M5~6、M9など、ギリギリまで攻めた前作からは一変、その言葉と表現スタイル自体を楽しんでいるような曲も多く、職人粋の先にある柔軟性が心地良い。(なかしまさおり)



Album
EGO-WRAPPIN'

写真家・野村佐紀子によるジャケットがなんと印象的な9thアルバム。最新曲「探足の果実」、今秋放映のアニメ「歌舞伎町ジャーク」のオープニング曲「CAPTURE」など、新境地を開く11曲。5月はCIRCLE、8月は九州でツアー!(前田亜礼)



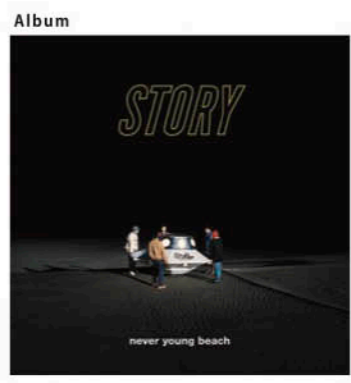
Digital Single
THE CHARM PARK

流れるような旋律に出会いと別れの季節の切なさや憂いを湛え、わずかに3分半の楽曲に過ぎゆく時の残酷さと癒しを完璧に落とし込んだ、正しくポップスの真骨頂。もうひとつの真骨頂のギタープレイも冴え違っている。(山崎聡美)



Album
PIANO SWITCH

数々のアーティストからリスペクトされるピアニスト、通算40枚目の今作は過去のアルバムからファン屈指の人気曲のリアレンジ版と新曲を織り交せたベスト盤。ピアノが弾けなくても弾いてみたいって思われること必至。(本誌編集部)



Album
never young beach

アナログ盤で発表した「うつらない」「歩いてみたら」を含む10曲入り4thアルバム。ステイラルパンの音色で始まる程妙さ、日本語詞をのせて時々と歌うトロピカルなオルタナ・ロックの傑作は、5月のCIRCLE&ファンマンで!(前田亜礼)



Digital EP
YAKUSHIMA TREASURE

過去作でも組んだオールドタイチと屋久島にてフィールド・レコーディングを行った最新デジタルEP。全編貫く強烈な生と死の匂い。祭礼性、民族性に富んだ世界は是非、鎌谷聡次郎のMV&ドキュメント「Re:SET」とセットで!(なかしまさおり)



来年のデビュー40周年を目前に控えた松田聖子。
今年は、シングル曲だけで構成されるスペシャルなコンサートを開催！

松田聖子

Pre 40th Anniversary

Seiko Matsuda

Concert Tour 2019

"Seiko's Singles Collection"

2019年8月3日(土) マリンメッセ福岡

OPEN 16:00 START 17:00

全席指定プレミアムシート ¥22,000 / S席 ¥8,900 ※未就学児入場不可

プレミアムシートはスペシャルプレゼント付/専用入口設置/コンサート鑑賞費 ¥8,900 含む
プレミアムシートは一般発売前に販売終了の可能性もございます。

< チケット一般発売 6月22日(土) 10:00~ ローソンチケット・チケットぴあ・イープラスにて >

BEA CLUB 先行予約

5.15(水) ~ 5.20(月)

同時入会可 / 詳しくはP.12をご覧ください。

BEA PLAY 先行予約

5.15(水) 12:00 ~ 5.19(日) 23:59

www.bea-net.com/beaplay/ **ビープレ** 検索

BEA-NET@CLUB 先行予約

5.22(水) 12:00 ~

www.bea-net.com **BEA** 検索

先行予約は全て
S席のみ受付